

新型コロナウイルス感染症対策に伴うバドミントン活動ガイドライン

令和2年7月28日

1. 基本的な考え方

『緊急事態宣言』が道内で発令された場合は開催を中止する。原則として参加者及び関係者の健康・安全を最優先とし大会規模などは最新の発表情報を随時確認しながら実施する。

2. 開催への配慮及び準備に関する留意事項

会場内において参加者が密にならないようにすることや、飛沫防止対策などの感染症拡大防止対策を行い大会運営しなければなりません。以下の点などを事前に主催者側と各顧問の間で確認し、確実に選手たちへ周知してください。特にバドミントンの大会においては、当日の受付、オーダー交換時、会場練習、開閉会式、観客席や控室などでの試合待機時間などの場面で密な状態になることが想定されます。従来形式に捉われず、開催時期や使用する施設の規模、地理的条件等を充分検討したうえで、実施します。実施にあたり、以下の点を確認してください。

(1) 大会関係者について

大会関係者とは、選手だけでなく、顧問・チームスタッフ・大会スタッフ・保護者までを対象とする。

- ・関係者の総数を想定して検討する。
- ・関係者の体調管理を行う。
 - *関係者全員、当日朝の検温を実施し、平熱より高い場合は参加を自粛する。
- ・関係者全員、常時マスクを着用する。試合時の選手は健康管理の点から外す。
- ・入場制限を行う。出場選手以外（応援・線審など）、保護者は館内に入場できない。

(2) 会場内で使用する物品について

感染拡大予防として、使用した物品は全て消毒する。消毒液は協会が準備しますので、運営委員以外の顧問の先生にも協力をお願いします。

(3) 式典等、運営の簡略化

開閉会式、表彰式などは行いません。諸注意などは、この文章などを参考に事前指導の徹底をお願いします。

(4) 大会会場内に関する事項

①会場出入口等

- ・ドアを常時開放する。
- ・会場へは朝早くから玄関前に集まることを禁止する。入場可能な時間から区切って入場する。
- ・各自、靴袋を準備し、入場と同時にに入れて持ち運ぶ。

②更衣室、食事・休憩・待機スペース

- ・更衣室の使用は認めるが、更衣のみとし、できるだけ短時間で済ますこと。
- ・食事場所は、飛沫が発生し感染リスクが高いことから、密にならないように感染防止を徹底すること。
 - *ランニングデッキ・ロビーでの食事を許可しますが、少人数・短時間で済ませること。
- ・参加者は極力待機場所からの移動を控える。
- ・定期的な消毒を行う。

③トイレ・手洗い場所

- ・関係者が触れると考えられる場所（洗面台、ドアノブ等）をこまめに消毒する。
- ・洗面台には協会が準備した石鹸、アルコール消毒液などを設置する。

④大会本部及び関係者控え室

- ・本部の設置場所は、密を避けるため会場内に運営スペースを確保する場合がある。
- ・可能な範囲で関係者控え室を設置する。利用する際は人数の制限を行う。
- ・常時、窓や扉を開放する。
- ・運営物品や共有物等は、定期的に消毒を行う。

⑤競技会場及び競技関係用具等

- ・遮光性に配慮の上、可能な限り窓や扉を開放して行う。
- ・窓や扉の開放ができない場合は、換気のタイミングや換気時間を決め、事前に周知する。
- ・コートサイドには選手が利用するカゴやドリンクケースを設置せず、各自バッグを持参させ、飲み物やタオル・予備ラケットは各自のバッグに収容させる。
- ・コーチングシートは設置しない。
- ・試合終了後、使用した器具・用具を消毒する。

⑥競技中の確認事項

- ・試合は主審のみで行う。線審は配置しない。主審は必ずマスクを着用する。
- ・選手同士や審判員との握手は行わない。
- ・主審のコールは『プレイ』『アウト・イン』『レット』『ゲーム』『ポイント』のみで行う。
- ・シャトル交換時の接触に注意する。

⑦観客の管理

- ・選手・顧問以外の館内への入場を禁止する。保護者への連絡をお願いします。
- ・入館の際にはマスクの着用を義務付けたうえで、出入口付近や通路に手指消毒剤を設置する。通路などで密にならないように配慮する。
- ・応援は声援を禁止し、拍手のみに限定し、指定された場所からのみとする。応援の際もマスク着用を義務付ける。

⑧ごみの処理

- ・感染症拡大防止の観点から各自持ち帰り自宅にて処分を徹底する。

3. 大会の参加者募集に関する留意事項

感染症拡大防止のため、参加にあつての遵守事項を周知徹底してください。選手たちの安全を確保するため、遵守できない参加者・チームには、大会前・大会中に関わらず参加資格の取り消し、退場を求めることをご了承ください。

(1) 次の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせる。

- ①発熱・咳・倦怠感などの症状がある。
- ②同居家族などに感染が疑われる人がいる。
- ③過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある。

(2) マスクの持参・着用

競技を行っていない時、会話をする時には必ずマスクを着用する。

(3) 他の参加者、大会関係者との距離の確保（できるだけ 2m）

(4) 大きな声での会話や応援（声援）の禁止

(5) 感染防止のために主催者が決めた措置の遵守、主催者の指示に従う

4. 大会参加者に関する留意事項

各顧問の先生は、選手に感染拡大防止による大会運営方法や会場の使用方法等を周知徹底してください。

*実施にあたり、次項の体温測定書・確認書を必ず提出してください。

大会関係者・参加者・引率者・コーチ用

体温測定書・確認書

以下の各項目にご記入の上、当日チームで集約し本部に提出してください。

提出のない方は、入館できませんので、必ず全員分ご持参ください。

○住 所 _____ ○連絡先（携帯等） _____

○入館者氏名 _____ ○年齢 _____ ○所属名 _____

○体温測定日（大会当日） 令和2年 _____ 月 _____ 日 ○測定時間 _____ ○体温 _____ 度

大会会場内で守っていただく項目です。確認と了承の意味でチェック印をつけてください。

記入のない場合、ご協力いただけない場合は入館をお断りいたします。

- 本日より過去2週間において体調に問題がない。同居家族や身近で感染を疑われる人がいない。
- 体育館内では、競技をしていない時以外は必ずマスクを着用する。
- 観戦は距離を空けて行う。
- コートへの入退場は一定の距離を保った上で、速やかに移動する。
- 挨拶の際は十分な距離を取り、選手・審判との握手は行わない。
- 意識的に試合中の声出しをしない。大きな声で応援・会話をしない。
- コートサイドに各自バッグを持参し、飲物・タオル・ラケットなどをバッグに収納する。
- ラケット・タオルに賃借をしない。
- 汗をコートサイドに投げることはしない。
- 床の汗拭き、溢した飲物はモップで拭き取る。
- シューズの裏を手で拭かない。
- プレーヤーまたはコーチなどとハイタッチ等はしない。
- コーチングは一定の距離を保った上で、短時間で行う。
- 館内での集合やミーティングは行わない。
- こまめな手洗いと手指の消毒を徹底する。手指乾燥機は使用しない。
- 試合が終了したら、敗者審判後は応援・観戦をせずに帰宅する。
- 全てのゴミを持ち帰り自宅で処分する。
- 主催者の決めたルール・指示に従えない場合は棄権、退場または大会中止となる。
- 大会参加後2週間以内新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、所属代表者から札幌地区協会事務局へ速やかに濃厚接触者の有無等について報告する。

万が一、参加者等を含め感染が発生した場合に備え、この書類を1ヶ月間保管します。
また、発症の可能性があった場合、医療機関から要請が求められた時は情報を提供します。
それ以外の目的には使用いたしません。保存期間終了後はシュレッダー廃棄します。